

ヘリグロチャバネセセリ

兵庫県：B

Thymelicus sylvaticus sylvaticus

環境省：—

種の概要

前翅長12～17mm程度。翅の地色は淡赤橙色で、翅脈と外縁部は黒色で前種に似るが、本種の方がやや色が淡い。平地から山地の林縁の草地に生息し、幼虫はヤマカモジグサ、ヒメノガリヤスなどを食べる。本州の暖地では年1化性で、成虫は低地では6月～7月、山地や寒冷地では7月～8月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、猪名川町、多可町、姫路市、神河町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○		○		

特記事項

CランクからBランクに変更

淡路島を除く県北西部と東部の旧30市町に記録はあるが、ほとんどの生息地で激減した。コナラ、アベマキなどの明るい2次林の林縁部の草地で見られたが、近年このような環境が常緑樹の成長やシカの食害で少なくなり、生息環境が孤立化し、分布域、個体数の減少は急速に進んでいる。

保護上の留意点